

シンポジウム

学校図書館の出番です

子ども時代の読書はそのあとの人生に大きな影響を与えます。
第5次学校図書館図書整備等5か年計画にともなう約2,350億円の
地方財政措置が、図書の増加・更新、新聞配備や学校司書の配置拡充に
有効に使われるための方法について語り合います。

とき 2017年10月9日[月・祝]
13:30~16:00(13:00開場予定)

ところ びわ湖ホール 小ホール
滋賀県大津市打出浜15-1

第1部

13:30~14:45

シンポジウム「学校図書館の出番です」

[パネリスト]

川端 達夫

衆議院副議長／元総務大臣／学校図書館議員連盟副会長

酒井 邦嘉

東京大学大学院総合文化研究科教授

坪田 知広

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長

上田由季子

湖南省立甲西北中学校／湖南省立日枝中学校学校司書

[コーディネーター]

肥田美代子

文字・活字文化推進機構理事長

第2部

15:00~16:00

講演「子ども時代の読書と図書館づくり」

安藤 忠雄

建築家／東京大学名誉教授

※敬称略

主催●公益財団法人文字・活字文化推進機構

共催●学校図書館議員連盟、読売新聞社

後援●文部科学省、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、
滋賀県学校図書館協議会、滋賀県書店商業組合



撮影：林景澤

安藤 忠雄 建築家／東京大学名誉教授

1941年大阪府生まれ。
独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所設立。2010年文化勲章、2013年フランス芸術文化勲章(コマンドゥール)、2015年イタリア共和国功労勲章グランデ・ウフィチャーレ章 2016年イサム・ノグチ賞など受賞多数。イエール、コロンビア、ハーバード大学の客員教授歴任。1997年から東京大学教授、現在、同大学名誉教授。2017年9月27日～12月18日まで国立新美術館にて「安藤忠雄展」開催中。近著『安藤忠雄 仕事をつくる一私の履歴書』(日本経済新聞出版社)、作品集『Tadao Ando 1995-2010』(Prestel Verlag) ほか。



上田 由季子 湖南省立甲西北中学校／湖南省立日枝中学校学校司書

1968年京都府生まれ。
2006年より、湖南省内の小学校、中学校の学校司書(前身は図書館協力員)として働く。仕事上の信条は、最適な本を最適な時に最適な人に手渡すこと。趣味は、本屋さんやレンタルDVDショップのディスプレイを眺めること。大切にしていることは、何ごととも深刻になり過ぎないこと。



川端 達夫 衆議院副議長／元総務大臣／学校図書館議員連盟副会長

1945年近江八幡市池田町生まれ。
京都大学工学部卒、京都大学工学部大学院修了。1970年東レ株式会社入社(研究開発)、1986年衆議院議員初当選。文部科学大臣、総務大臣を経て現在衆議院副議長、学校図書館議員連盟副会長。総務大臣時代には第4次「学校図書館図書整備5か年計画」の継続・拡充にとりくみ、小中学校への新聞配備と学校司書配置に必要な地方財政措置を決断、学校司書法制化への道を切り開く。



酒井 邦嘉 東京大学大学院総合文化研究科教授

1964年東京生まれ。
1987年東京大学理学部物理学卒業。1992年同大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。同年、同大医学部助手。1995年ハーバード大学医学部リサーチフェロー。MIT言語・哲学科客員研究員を経て、現在、東京大学大学院総合文化研究科教授、同理学系研究科物理学専攻教授兼任。第56回毎日出版文化賞、第19回塚原仲晃記賞受賞。著書『脳を創る読書』(実業之日本社)、共著『芸術を創る脳—美・言語・人間性をめぐる対話』(東京大学出版会) ほか。



坪田 知広 文部科学省初等中等教育局児童生徒課長

1969年福井県生まれ。
1992年文部省(現文部科学省)に入省。私学部私学行政課をスタートに、放送大学、生涯学習、国際交流、芸術文化など幅広い分野を歩み、1999年から2年間愛知県警察本部少年課長、2005年から3年間三重県教育委員会次長(学校教育分野担当)。その後、文部科学省科学技術・学術政策局企画官、国土交通省観光庁室長、文部科学省文部科学広報官、社会教育課長、競技スポーツ課長を歴任し、2015年4月から現職。



肥田 美代子 文字・活字文化推進機構理事長

1941年大阪市生まれ。
童話作家。参議院議員、衆議院議員を経て、現在、公益財団法人文字・活字文化推進機構理事長、一般財団法人出版文化産業振興財団理事長、大阪樟蔭女子大学客員教授。国際子ども図書館の設立、子どもゆめ基金の創設、子どもの読書活動推進法および文字・活字文化振興法の制定、子ども読書年に関する国会決議、国民読書年に関する国会決議の採択、学校司書の法制化、著作権法改正などに尽力。著書『ゆずちゃん』(ポプラ社)、『山のとしよかん』、『森の本やさん』(以上、文研出版)、『本と生きる』(ポプラ社新書) ほか。